



参加無料
申込不要
先着100名

公開シンポジウム

大分の外来生物問題

日時

2025年**1月26日**(日)
14:00～17:15

開場 13:30

場所

J:COM ホルトホール大分
302・303会議室

JR 大分駅上野の森口（南口）徒歩約2分

外来生物問題ってなんだろう？

NPO 法人おおいた生物多様性保全センター

森田祐介

オオハンゴンソウ～九重町飯田高原における駆除活動～

九重の自然を守る会

川野智美

大分市におけるアライグマ対策

大分市環境対策課

島田健一郎

湯布院からみる水辺の外来種問題

日本ミズベ研究所

富山雄太

高島のクリハラリス防除とその効果

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所

安田雅俊

パネルディスカッションー 私たちにできることー

コーディネーター：NPO 法人大分環境カウンセラー協会

杉浦嘉雄

— 外来生物問題 知っていますか？ —

もともとその地域にいなかったのに、人間活動によって他の地域から持ち込まれた生物のことを「外来生物」といいます。日本国内に定着した外来生物の種類数は分かっているだけでも2,000種を超えています。

一部の外来生物は、日本の生態系の中で、極端に数が増えることがあり、これにより、その地域に元々生息していた生物が生息できなくなったり、農林水産業に大きな影響を与えたり、病気をひろげたりと様々な問題を起こしてしまいます。

私たちの暮らす大分県にも様々な「外来生物」が生息しています。その一方で、この外来生物から大分の自然・生態系を守るために、様々な取り組みも行われています。

本シンポジウムでは大分県内の外来生物問題に携わる様々な立場や専門分野の方の話を聞き、外来生物問題とは何か、どのような対策が行われているのか、私たちには何ができるのか、幅広く学び、考える機会にしたいと考えています。

主催：NPO 法人おおいた生物多様性保全センター

**共催：NPO 法人大分環境カウンセラー協会、日本ミズベ研究所
九重の自然を守る会**

後援：大分県、大分合同新聞社

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所

お問い合わせは 090-3737-0942（森田）まで